

# 競技注意事項

1. 本大会は、2019年IAAFルールを適用する。  
ただし、グランプリ種目以外については2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により行う。
2. 競技場の入場について
  - ①開門時刻は7時30分とする。
  - ②競技者受付は、ヤンマースタジアム長居のエントランスホールとする。
  - ③ヤンマースタジアム長居、ヤンマーフィールド長居の入場は出場競技者に制限しますので移動する場合は、ナンバーカードを携行すること。
3. 更衣について  
グランプリ種目出場競技者の更衣用としてヤンマースタジアム長居に、高校生、中学生、小学生の更衣用としてヤンマーフィールド長居に更衣室を男女別に用意する。ヤンマーフィールド長居の更衣室を利用する場合は、トラック側から室内練習場を経由して入場すること。  
更衣室は更衣のみに使用し、更衣した荷物を置かないこと。また、清潔に使用すること。
4. 練習について
  - ①トラック種目の練習はヤンマーフィールド長居とヤンマースタジアム長居バックスタンド下室内練習場とする。(使用可能時間7:30~18:00)
  - ②ヤンマーフィールド長居は、投てき競技が始まると練習場所を制限することがある。
  - ③跳躍・投てき競技の練習は各種目とも競技開始前に競技役員の指示により、競技場で行うこと。
  - ④早朝のヤンマースタジアム長居での練習可能時間は、開門(7時30分)から8時50分までとする。
  - ⑤グランプリ種目(特別招待レースも含む)に出場する選手の前日練習は、ヤンマースタジアム長居で10時~15時に行うこと。やり投は助走練習のみとする。
5. 招集について
  - ①ナンバーカードは配付されたものを使用すること。
  - ②招集所はヤンマースタジアム長居マラソングートに設置する。(第1コーナーと第2コーナーの間)
  - ③招集開始時刻(点呼開始)及び招集完了時刻(移動開始)は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	トラック		フィールド	棒高跳
	予選・決勝	タイム決勝		
開始時刻	予選30分前 決勝20分前	30分前	50分前	70分前
完了時刻	予選20分前 決勝10分前	20分前	40分前	60分前

- ④招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。
  - ⑤競技者は、招集開始時刻にナンバーカード・スパイクシューズ、ロゴ等の点検を受けて、そのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。
  - ⑥代理は認めない。
  - ⑦小学生リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。(用紙は巻末にあるものを使用すること)
  - ⑧欠場する競技者は欠場届を競技者係に事前に提出すること。(用紙は巻末にあるものを使用すること)
6. 競技について
    - ①中学生の円盤投はヤンマーフィールド長居で行う。
    - ②走高跳のバーの上げ方(1位決定のバーの上げ下げは2cm)
 

中学男子	1.55 練習	1.60-1.65-1.70-1.75-1.80-以後	3cm
中学女子	1.40 練習	1.45-1.50-1.55-以後	3cm
    - ③棒高跳のバーの上げ方(1位決定のバーの上げ下げは5cm)
 

※練習の高さは現地で決定

高校男子	3.80-4.00-4.20-4.30-以後	10cm
高校女子	2.60-2.80-3.00-3.20-以後	10cm
    - ④やりの検査は競技開始時刻の2時間前から1時間前まで、ヤンマースタジアム長居のエントランスホールのT I Cにて受け付ける。

## 7. 表彰について

- ①グランプリ種目の表彰は優勝者のみ表彰状と副賞を授与する。110mHの優勝者にはトロフィーを授与する。該当者は表彰式には必ず参加すること。
- ②小学生・中学生・高校生の種目は決勝3位までを表彰する。

## 8. 個人情報の取扱い

- ①主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取扱う。  
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- ②本大会はテレビ放送及びインターネットで動画配信を行うことがある。
- ③大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 9. グランプリ種目参加選手のドーピングコントロール

### ①ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。

尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。

尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

### ②TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE）”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ（<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>）、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ（<http://www.playtruejapan.org/>）を確認すること。

### ③18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ・本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。
- ・18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR（陸連医事代表）に提出すること。提出は1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みであることをNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

## 10. その他

### ①グランプリ種目は、スタートした競技者の衣類をPCRに運搬する。

グランプリ種目以外のトラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、サイド、バックスタンド側の通路を通過して出発点に帰ること。

- ②スパイクの長さは9mm以内のピンとする。走高跳・やり投は12mm以内のピンとする。
- ③中学生・高校生種目の出場競技者は招集所で腰ナンバーカードを受け、フィニッシュ後係員に返却すること。
- ④ビデオ、ラジオ、CD、トランシーバー、携帯電話等の機器を競技場内に持ち込んではいない。
- ⑤正面玄関ホールでの場所取りをしないこと。
- ⑥競技者受付時に各団体にゴミ袋を配布するので分別（カン・ペットボトルとビンと混載ゴミの3分別）して指定場所に持って行くこと。
- ⑦記録の掲示は第1ゲート外側とする。